

倫理

第2問 問3 「11」

日蓮の思想について、資料と合わせて考える問題で、各学力層で差がついた

問3 下線部◎に関連して、後の会話は、国家への警告や四箇格言で知られる日蓮について調べているDが、仏教関連の写真集をみながらCと交わしたものである。日蓮の思想を踏まえて、会話中の ・ に入る記述の組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

図1 阿彌陀如来像

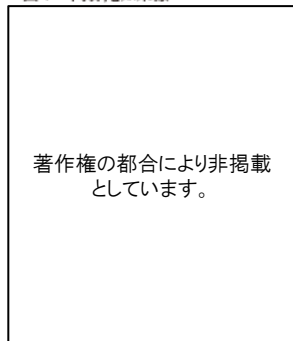
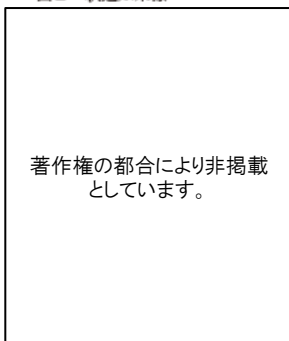


図2 釈迦如来像



- ① a 図1
b 仏像や仏画など視覚的に仏を表現しているものや「法華経」の教えそのものには価値をおかず、「法華経」の教えを象徴する掛物を重視していた
- ② a 図1
b 仏像や仏画など実際に見える明確な対象に仏の力が宿っているとは考えず、「法華経」の名に功德がそなわっていると信じ崇拝していた
- ③ a 図2
b 仏像や仏画など視覚的に仏を表現しているものや「法華経」の教えそのものには価値をおかず、「法華経」の教えを象徴する掛物を重視していた
- ④ a 図2
b 仏像や仏画など実際に見える明確な対象に仏の力が宿っているとは考えず、「法華経」の名に功德がそなわっていると信じ崇拝していた

- C：日蓮は「法華経」を重視し、その教えに従う政治の実現を求めた僧だよ。
- D：うん。「法華経」は、 に表現されている「久遠実成の仏」が永遠の過去から説き続けている究極の教えだとされているよ。
- C：たしか日蓮は、布教の過程で激しい迫害や弾圧を受けたと授業で習ったよね。やはり日蓮も生身の人間だから、たとえ「法華経の行者」としての自覚があっても苦しくて挫折しそうになったときには、このような仏像や仏画などを心のよりどころにしたのかな。
- D：内村鑑三が書いた「代表的日本人」の日蓮についての記述によると、日蓮の臨終のときに、人々が慰めになるだろうと仏像を日蓮のもとに運んだのに、日蓮はそれを拒んだんだって。そこで「法華経」の名の入った掛物を掲げると、日蓮はゆっくりそれに向かって手を合わせて、息を引き取ったそうだよ。
- C：そうか。つまり日蓮は、 ということなんだね。

第2問 問3 「11」

正解率	30.6%
SS70~75	59.8%
SS65~70	52.1%
SS60~65	46.4%
SS55~60	37.4%
SS50~55	31.4%

2022年度第3回ベネッセ・駿台
大学入学共通テスト模試
「倫理」

受験者数： 10,199人
平均点： 49.8点
標準偏差： 15.9

倫理

第2問 問3 「11」

日蓮の思想について、資料と合わせて考える問題で、各学力層で差がついた

結果分析

第2問の問3は、写真資料や内村鑑三の著作の一部を用いながら、日蓮についての生徒の会話文の空欄にあてはまる記述を選ぶ問題で、各学力層で差がつかしました。

日蓮が説く「久遠実成の仏」とは具体的にどういうものを写真資料から選び、また、内村鑑三の『代表的日本人』のなかの日蓮に関する記述から、日蓮の『法華経』に対する考えを理解することが求められており、日蓮の思想について、深く理解できているかどうかで差がついたと考えられます。

指導のご提案

教科書を一通り終了し、問題演習を通して知識の定着・確認や、新しい設問形式への対策を進められつつある時期だと思えます。個々の思想家の断片的な知識は身に付いていても、その思想が生まれた背景や他の思想に及ぼす影響、類似する思想などについての理解は十分ではないことも考えられます。これから共通テストまでの期間では、実践的な問題演習を重ねるとともに、思想が生まれた背景や他の思想への影響、さらに相互の関連性について整理し、思想の理解を深めるようご指導されることをおすすめします。

また、共通テストでは、本問のような資料をもとにした出題や、読解力を要する出題が多く予想されます。教科書や資料集で思想と結びつけて原典資料を改めて確認するとともに、短時間で長文を読み、その要旨を的確にとらえる演習を繰り返すことも大切です。